

イルカが砂浜に打ち上げ 救助活動で大半が沖へ

エサを探して迷い込んだとみられるイルカの群れが、1月23日、平松の海岸に打ち上げられました。打ち上げられたのは、「カズハゴンドウ」というイルカで、懸命の救助作業により26頭のうち20頭が沖へ戻っていきました。衰弱して力尽きた残りの6頭は、東京の国立科学博物館が調査研究のために引き取りました。



▲海岸での救助活動(平松浜)

練習の成果を披露 第1回グリーンコンサート



合併後初めてとなる第1回グリーンコンサートが、2月19日に東総文化会館で開かれました。ピアノやバイオリン、エレクトーンなどの楽器や声楽の練習成果を発表する場としてのコンサート。出場者は、緊張感が漂う中にも楽しんでいる様子が感じられる、伸びやかな演奏を披露してくれました。

貴重な刀剣三振りを寄贈 大原幽学記念館で公開

歴史的に価値の高い貴重な刀剣三振りを、安藤元春さん(幾世)が寄贈され、2月2日、大原幽学記念館で受領式が開かれました。寄贈されたのは「無銘伝景安」「無銘三原正廣」の刀二振りと「備州長船守助」の薙刀一振りで、鎌倉時代後期から南北朝時代に作られたものです。多くの人に見てもらえるように、大原幽学記念館で展示、公開しています。

美しく光る刀剣をぜひ間近でご覧ください。

元プロ野球選手谷沢健一さんが 市内中学生に野球指導



社会人野球チーム「谷沢野球コミュニティ千葉(YBCフェニックス)」を立ち上げた元中日のプロ野球選手谷沢健一さんが2月10日から3日間、飯岡荘に泊まりながら、海上コミュニティ運動公園野球場でチームのミニキャンプを張りました。

谷沢さんは、練習の空き時間を利用して、市内中学野球部の子どもたちに野球教室を開いてくれました。正しい打撃フォームや、スイングの仕方など、分かりやすく解説しながら、指導に当たってくれました。

飯岡灯台をライトアップ —観光資源に活用—



刑部岬に建つ飯岡灯台をライトアップして、観光資源に活用できないかと1月24日、25日の2日間、試験が行われました。今回の試験は、ライトアップした場合、海上交通の支障にならないかを調べるため、海上保安庁の協力で実現しました。灯台をいろいろな角度から照射して、視認に問題がないか海上から確認が行われましたが、特に問題はなさそうでした。これからさまざまな規制をクリアした上でライトアップを行う予定です。



友好交流都市 「沖縄県中城村」から 子どもたちが訪問

友好交流都市を締結している沖縄県中城村の子どもたち10人が、2月15日、16日の2日間、旭市を訪問しました。子どもたちは飯岡荘に宿泊して、旭市の子どもたちと交流会で、郷土芸能を披露しました。また、飯岡刑部岬を見学したりイチゴ狩りを楽しんだりして、旭市の自然や産業、歴史も学習しました。そして、飯岡小と三川小を訪問。三川小では、三川小の子どもたち手作りの大型かるたや長縄跳びで一緒に楽しんだり、給食を食べたりしました。帰りには「手紙送るからね」という会話がでるほど、子どもたちの交流は深まっていました。



◀一緒に大漁節を踊る子どもたち



▶三川小で給食を一緒に楽しむ子どもたち

中央小への恩返し 6年生がトイレ掃除



▲トイレを磨き、心も磨く清掃活動

卒業を3月に控えた中央小6年生が、2月6日、6年間使った学校への感謝の気持ちをこめてトイレ掃除を全員で行いました。厳しい寒さと臭いにおいで始めは少し戸惑い気味だった子どもたちも、掃除をしているうちにだんだんと熱心になっていき、自分の担当の便器をきれいに磨き上げました。

下校途中にお年寄りを訪問 富浦小で「寄り道ボランティア」

学校の下校途中に一人暮らしのお年寄りを訪問する「寄り道ボランティア」を、富浦小の5、6年生が2月10日に行いました。子どもたちは、お年寄りへのメッセージと鉢植えの花をプレゼント。元気な子どもたちの訪問を受けたお年寄りは、昔の学校の様子や遊びなどを子どもたちに笑顔で話していました。



▲お年寄りの話を聞く子どもたち

宝くじ助成でお囃子道具を 購入 一川向区(富浦地区)一

平成15年に行われた仁玉姫神社御神幸祭を契機に結成された「川向区お囃子連」。川向区では、平成17年度自治宝くじ助成を受けて、太鼓、小鼓、篠笛などのお囃子道具を購入。祭り道具がそろったことで、地元にあるあさひ健康福祉センターでの出演や七夕市民まつりへの参加が容易になり、ますます区民相互の親睦が図られ、地域のコミュニティ活動が一層活発になります。



新町下町第一区 コミュニティセンターが完成

市から補助を受けて建設していた、新町下町第一区コミュニティセンターが完成しました。約100㎡の面積をもつ広々としたコミュニティセンターは、高齢者や障害者の方が利用しやすいように、段差をなくしたり、入口にスロープを設けるなど、バリアフリーに配慮した造りになっています。

